

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

第2514619号

(24) 登録日 平成 8 年 (1996) 4 月 30 日

(45) 発行日 平成 8 年 (1996) 7 月 10 日

(51) Int.Cl.⁴
B 6 5 D 73/00

識別記号 庁内整理番号

F I
B 6 5 D 73/00

技術表示箇所
H

請求項の数 2 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平 5-104890
(22) 出願日 平成 5 年 (1993) 4 月 8 日
(85) 公開番号 特開平 6-293356
(43) 公開日 平成 6 年 (1994) 10 月 21 日

(73) 特許権者 391011652
株式会社シーティーケイ
東京都千代田区神田和泉町 1 番地
(72) 発明者
長岡 寛俊
東京都千代田区神田佐久間町 3 丁目 24 番
地 2 株式会社シーティーケイ内
(74) 代理人
弁理士 菊池 新一 (外 1 名)

審査官 清沢 良一

(56) 参考文献 実開 平 3-93461 (J P, U)
実開 平 2-34467 (J P, U)

(54) 【発明の名称】 物品ホルダー及びその部品

(57) 【特許請求の範囲】

1
【請求項 1】 粘着層を有するホルダー台紙と、前記ホルダー台紙の粘着層の上に貼り付けられた剥離紙とを含み、前記剥離紙は、前記ホルダー台紙の粘着層を任意の面積で露出することができるように面積分割して剥離することができる相互に隣接する任意の形状及び寸法の剥離紙部分の多面組合せ体から成り、保持すべき物品は、その形状、大きさ、重さ等に応じて剥離紙の任意の 1 つの又は隣接する任意の複数の剥離紙部分を剥離して露出する粘着層部分に少なくとも部分的に貼り付けて保持されることを特徴とする物品ホルダー。

【請求項 2】 繰り返し使用することができる粘着層を有するホルダー台紙の上に貼り付けられる剥離紙を含み、前記剥離紙は、前記ホルダー台紙の粘着層を任意の面積で露出することができるように相互に切り離して面

2
積分割して剥離することができる相互に隣接する任意の形状及び寸法の剥離紙部分の多面組合せ体から成り、保持すべき物品は、その形状、大きさ、重さ等に応じて剥離紙の任意の 1 つの又は隣接する任意の複数の剥離紙部分を剥離して露出する粘着層部分に少なくとも部分的に貼り付けて保持されることを特徴とする物品ホルダー用部品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

10 【産業上の利用分野】 本発明は、例えば、電線識別用のマーキング済チューブの如き比較的軽量で小型の多数の物品を並べて保持し、保管するのに好適な物品ホルダー及びその部品に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 例えば、図 7 (A) に示すように、電線

(2)

4

に被せて電線を識別するのに用いられるマーキング済チューブ50、図7(B)に示すように、種々の物品に取り付けられているベルト等の帯状体に被せて物品を識別するのに用いられるマーキング済扁平チューブ52、図7(C)に示すように、保管袋の結束紐等を通して同様にこの保管袋を識別する名札54、その他これらに類似した種々の物品を多数取り揃えて保管することが要求されることである。

【0003】1つの従来技術では、例えば図7(A)に示すようなマーキング済チューブ50を保管するために、マーキング済チューブ内に差し込まれるようにしてそれぞれ各1つのマーキング済チューブを被せて保持する多数の差し込み片を横並びに配置して形成された橋歯状のホルダー列を多数に組合せて構成された物品ホルダーが用いられている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、この従来技術の物品ホルダーは、保持すべきチューブの断面形状、太さに応じて種々の形状及び寸法の差し込み片を必要とするので、保持すべき物品の形状、寸法に合わせて種々の物品ホルダーを用意することが要求され、またこのような差し込み式の物品ホルダーは、差し込み片が差し込まれるべき中空部を有する物品を保持することができるだけであって、図7(C)に示すような扁平な物品や他の複雑な形状の物品を保持することができなかった。

【0005】また、差し込み式の物品ホルダーは、各差し込み片に物品を被せたり、差し込み片から物品を抜き取って着脱するので、物品の着脱が面倒であり、物品の保持(保管)又は使用時の作業性が低い欠点があった。

【0006】一般に、例えば郵便等の扁平な物体を貼り付けて保管する貼り付け式物品ホルダーが使用されているが(例えば実開平3-93461号公報参照)、従来技術の貼り付け式物品ホルダーは、貼り付けて保管すべき所定の物体(物品)の面積に相当する特定の面積で露出することができるよう剥離紙で覆われた粘着面を有する台紙から成っている。しかし、この物品ホルダーは、保管すべき物品の面積に合わせて露出面積を有する種々の形のものを用意しなければならないので、不経済であった。

【0007】本発明の1つの目的は、種々の形状及び寸法の物品を並べて保持することができる貼り付け式の物品ホルダーを提供することにある。

【0008】本発明の他の目的は、上記物品ホルダーの一部を購入するだけで他の部分を繰り返し使用することができるようにして経済的に物品を保持することができる物品ホルダー用部品を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明の第1の課題解決手段は、粘着層を有するホルダー台紙と、このホルダー台紙の粘着層の上に貼り付けられた剥離紙とを含み、こ

の剥離紙は、ホルダー台紙の粘着層を任意の面積で露出することができるように面積分割して剥離することのできる相互に隣接する任意の形状及び寸法の剥離紙部分の多面組合せ体から成り、保持すべき物品は、その形状、大きさ、重量等に応じて剥離紙の任意の1つ又は隣接する任意の複数の剥離紙部分を剥離して露出する粘着層部分に少なくとも部分的に貼り付けして保持されることを特徴とする物品ホルダーを提供することにある。

【0010】本発明の第2の課題解決手段は、繰り返し使用することができる粘着層を有するホルダー台紙の上に貼り付けられた剥離紙を含み、この剥離紙は、ホルダー台紙の粘着層を任意の面積で露出することのできるように相互に切り離して面積分割して剥離することのできる相互に隣接する任意の形状及び寸法の剥離紙部分の多面組合せ体から成り、保持すべき物品は、その形状、大きさ、重量等に応じて剥離紙の任意の1つ又は隣接する任意の複数の剥離紙部分を剥離して露出する粘着層部分に少なくとも部分的に貼り付けして保管されることを特徴とする物品ホルダー用部品を提供することにある。

【0011】

【作用】このように、ホルダー台紙の粘着層の上に貼り付けられた剥離紙がホルダー台紙の粘着層を任意の面積で露出することのできるように面積分割して剥離することのできる相互に隣接する任意の形状及び寸法の剥離紙部分の多面組合せ体から成っている、保持すべき物品の形状、大きさ、重量等に応じて剥離紙の任意の面積の剥離紙部分を剥離して露出する粘着層部分に跨って貼り付けることによって種々の形状、寸法又は重量等の物品を並べて貼り付けて保持することができる。従って、保持すべき物品の形状又は寸法毎に種々の物品ホルダーを用意する必要がなく、また重量が大きい物品を保持する場合又は、露出する粘着層部分の面積を大きくして粘着力(又は接着力)を調節することができる。

【0012】更に、物品ホルダーの繰り返し使用することのできる粘着層を有する台紙上に貼り付けられる剥離紙部品を用意すると、粘着層を有する比較的広面積の台紙を使い捨てすることなく再使用することができるので、物品ホルダーを経済的に使用することができる。

【0013】

【実施例】本発明の実施例を図面を参照して詳細にのべると、図1は本発明に係る物品ホルダー10の一実施例を示し、この物品ホルダー10は、粘着層12を有するホルダー台紙14と、このホルダー台紙14の粘着層12の上に貼り付けられた剥離紙16とを含んでいる。ホルダー台紙14は、膜の強い任意の厚さの紙以外にプラスチック、その他任意の材料から形成することができ、また、粘着層12は、厳密の意味の「粘着層」が好ましいが、保管期間が短ければ、それ以外に接着層も含む広い意味で使用される。

【0014】図示の実施例では、物品ホルダー10を工

場、事務所内等の適宜の金属剥壁等の種々の金属板面に吸着して保持されるようにホルダー台紙14の裏面に取付けられたシート状磁石18、18'を有する。

【0015】剥離紙16は、保持されるべき物品の大きさ、寸法、重量に応じてホルダー台紙14の粘着層12を任意の面積で露出することができる任意の形状及び寸法(分断)して剥離することができ任意の形状及び寸法の剥離紙部分16A、16B等の多面組合せ体から成っている。注目すべきことは、これらの剥離紙部分16A、16Bが相互に隣接していることである。これは、

10 後にのべるように、粘着層12を任意の面積で露出することができるようにするの必要である。図示の実施例では、剥離紙部分16Aは、長い短冊状部分であるが示され、また剥離紙部分16Bは、短い短冊状部分であるが示され、また隣り合う剥離紙部分16A、16Bは、切り割線20によって相互に完全に切り離されている。

【0016】また、この物品ホルダー10は、図1及び図3に示すように、剥離紙16の一部に書き込みすることができる余白部分22を有する。この余白部分は、図3に示すように、適宜の筆記具で保持(保管)されるべき物品の種類その他の識別用文字、数字等を書き込むのに用いられる。

【0017】この物品ホルダー10は、例えば、保持すべき物品の形状、大きさ、重量等に応じて隣接する任意の剥離紙部分16A又は16Bを任意の枚数剥すことによって適合する面積と粘着力(又は接着力)で粘着層部分を露出してこの露出された粘着層部分(図面においてハッチを施して示される部分)12aとこの粘着層部分12aに隣り合う剥離紙部分16A又は16Bとに

30 跨がって保持すべき物品を並べて貼り付けて保管する。【0018】図3の例では、短いマッキング済チューブ50は、1枚の剥離紙部分16Aを剥してホルダー台紙14の露出された粘着層部分12aの上に貼り付けられ、また長いマッキング済チューブ50は、2枚の剥離紙16B(貼り付けるべきチューブの数が多ければ16Aでもよい)を剥してホルダー台紙14の露出された粘着層部分12aの上に貼り付けられている。更に、図7

(C)に示すような、円形の扁平な物品である名札54は、1枚の剥離紙部分16B(又は16A)を剥して同様にホルダー台紙14の露出された粘着層部分12aに貼り付けられている。尚、図3においては、1つの物品ホルダー10に種々の物品を並べて貼り付けて保持する場合を示したが、実際には、1つの物品ホルダー10にはほぼ同種の物品を並べて貼り付けて保持することが多く、これによって種々の物品を区分けて保管することができる。

【0019】保持すべき物品50、54等は、図3及び図4に示すように、露出された粘着層部分12aとその隣り又は片片りの剥離紙部分16A又は16Bに跨

って貼り付けられるのが好ましい。このようにすると、物品50、54等は、剥離紙部分16A又は16Bの上では貼り付けられないので、物品50、54等とその下の剥離紙部分16A又は16Bとの間に指を差し入れて物品50、54等を容易に剥すことができる。但し、重量のある物品を貼り付けて保管する場合には、この物品の貼り付け側の全面で貼り付けられるようにして大きな粘着力(又は接着力)を得ることができる。

10 【0020】剥離紙16の分断された剥離紙部分は、相互に隣接していれば、短冊状以外に、四角形、三角形その他の任意の形状とすることができ、また隣接する剥離紙部分の面積も任意とすることができ。

【0021】ホルダー台紙14の粘着層12は、厳密な意味では、それ自体長い間にわたって繰り返し使用することができるが、剥離紙部分16A乃至16E等を剥して廃棄処分すると、ホルダー台紙14も処分しなければならないので、不経済であり、これを回避するため、剥離紙16のみを物品ホルダー部品として別購入してホルダー台紙14を再使用することができる。この場合、剥離紙部分が切り割線20で分断されていると、取扱

20 が不便であるので、図5に示すように、剥離紙部分16A乃至16Eを手で相互に切り離すことができるが、これらの剥離紙部分16A乃至16E等が組合せられた状態で取り扱うことができるようにミシン目等の切り離し容易な境界線20'で分断するのが好ましい。

【0022】尚、粘着層12が通常の接着層から成っている場合でも、水を付着すると、接着力を回復する復元性の接着層とすることによって、上記と同様にしてホルダー台紙を再使用することができる。

30 【0023】本発明の物品ホルダー10は、比較的平面的であるので、図6に示すように、透明な保管袋30に収納して保管することができる。この保管袋30は、透明な袋本体32と、袋本体32の正面に設けられ収納物品の内容等を表示することができる書き込み可能な表示面部分34と、袋本体32の開口を開閉するファスナー36とから成っている。このようにすると、物品50乃至54が汚れたり、本意に露出粘着層部分12aから剥離した場合に紛失したりするのを有効に防止することができる。

40 【0024】【発明の効果】本発明によれば、上記のように、ホルダー台紙の粘着層の上に貼り付けられた剥離紙が保持されるべき物品の形状、大きさ、重量等に応じてホルダー台紙の粘着層を任意の面積で露出することができるように面積分割して剥離することができる相互に隣接する任意の形状及び寸法の剥離紙部分の多面組合せ体から成っている。保持すべき物品の形状、大きさ、重量等に応じて剥離紙の任意の面積の剥離紙部分を剥離して露出する粘着層部分に貼り付けることによって種々の形状、寸法又は重量等の物品を並べて保持することができ、従っ

(4)

て保持すべき物品の形状又は寸法毎に種々の物品ホルダーを用意する必要がなく、また重量が大きい物品を保持する場合には、露出する粘着層部分の面積を大きくして粘着力（又は接着力）を調節することによって重量のある物品を確実に保持することができる。

【0025】更に、物品ホルダーの繰り返し使用することができる粘着層を有する台紙上に貼り付けられる剥離紙部品を用意すると、粘着層を有する比較的高価な台紙を使い捨てることなく再使用することができるので、物品ホルダーを経済的に使用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る物品ホルダーの一例の正面図である。

【図2】図1の物品ホルダーの下面図である。

【図3】図1の物品ホルダーの使用状態の正面図である。

【図4】図3の使用状態の一部を拡大して示し、同図（A）はその断面図であり、同図（B）は平面図である。

【図5】図1の物品ホルダーに用いられる剥離紙とはほぼ同じ形態であるが、分断する境界線がミシン目であるのが示されており、同図（A）は平面図であり、同図（B）は一部の斜視図である。

【図6】本発明の物品ホルダーを保管するのに用いられ*

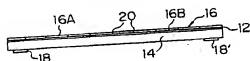
る保管袋の使用状態を示し、同図（A）は断面図であり、同図（B）は正面図である。

【図7】保管することが要求される多数の物品の異なる幾つかの例の斜視図であり、同図（A）は電線識別用マーキング済チューブ、同図（B）はベルトに取付けられて物品を識別するためのマーキング済扁平チューブ、同図（C）は名札をそれぞれ示す。

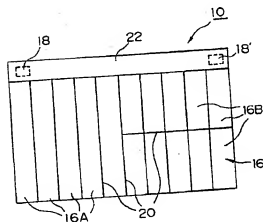
【符号の説明】

- 10 物品ホルダー
- 12 粘着層
- 12a 露出された粘着層部分
- 14 ホルダー台紙
- 16 剥離紙
- 16A 長い短冊状剥離紙部分
- 16B 短い短冊状剥離紙部分
- 18 シート状磁石
- 18' シート状磁石
- 20 切り割り線
- 20' 切り離し容易な境界線
- 22 余白部分
- 30 保管袋
- 32 袋本体
- 34 表示面部分
- 36 ファスナー

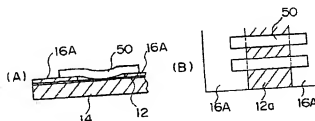
【図1】



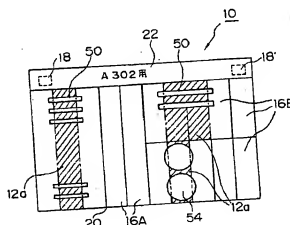
【図2】



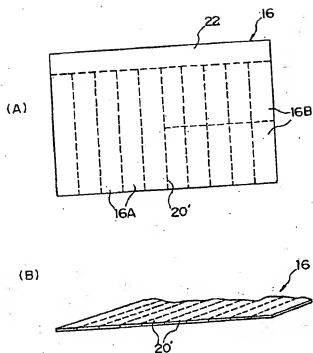
【図4】



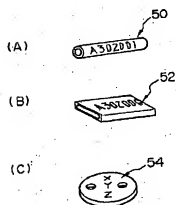
【図3】



【圖5】



【圖7】



【圖6】

